

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード : 120315

精神看護方法論Ⅱ Psychiatric Nursing Ⅱ

担当教員	川村 みどり 大江 真吾 清水 暢子 谷本 千恵				
実務経験					
開講年次	3年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	45		
Keywords	精神障害がある人と家族への看護、精神科看護技術、紙上事例展開				
学習目的・目標	【目的】 精神障害がある人に対する看護過程の展開方法を学習する。精神科看護技術の実際を学習する。【目標】 1. 主要な精神疾患・症状を有する患者の事例を通して、対象の健康レベルをアセスメントする技術と必要な看護ケアの方法を理解する。 2. 視聴覚教材や演習等により精神科における看護技術の実際を学ぶ。 3. 地域で生活するために必要なケアマネジメントについて理解できる。 4. 当事者主体の看護の重要性について理解できる。 5. 家族への看護について理解できる。				
授業計画・内容					
回	内容				
1-2	ガイダンス、精神看護とは				
3-4	統合失調症患者の看護(1) 急性期				
5-6	統合失調症患者の看護(2) 回復期				
7-8	統合失調症患者の看護(3) 慢性期				
9-10	気分障害患者の看護 躁				
11-12	気分障害患者の看護 うつ				
13-14	不安障害患者の看護				
15-16	アルコール依存症患者の看護				
17-18	発達障害患者の看護				
19-20	実習に向けて(1)				
21-22	実習に向けて(2)				
23	まとめ				
教科書	佐藤壹三(監修) : 精神看護学① 精神看護学概論・精神保健、第3版、メヂカルフレンド社、2011 佐藤壹三(監修) : 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護、第3版、メヂカルフレンド社、2011 上田敏(著) : ICFの理解と活用、初版、萌文社、2005				
参考図書等	渡辺雅幸 : 専門医がやさしく語る はじめての精神医学 初版、中山書店、2007				
評価指標	出席状況・授業態度10%、演習・課題レポート60%、試験30%				
関連科目	心理学、臨床心理学、社会福祉論、精神保健論、疾病・障害論Ⅲ(精神)、精神看護学概論 精神看護方法論Ⅰ、地域精神保健看護論、精神看護学実習、統合実習A				
教員から学生へのメッセージ	後期の実習に向けて、基礎力・実践力を養います。実習がイメージしやすいような授業を考えています。積極的に学んでください。				